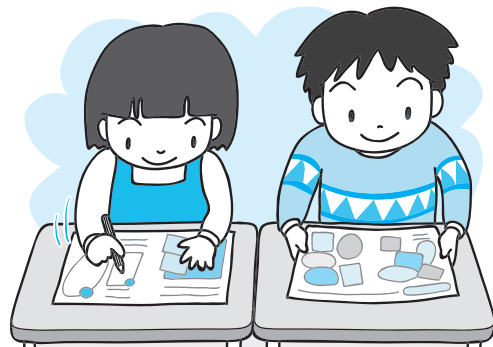


# 1時間を通して活用する①

## 本場面におけるポイント

- ねらいとする道徳的価値へ方向付けを図る  
導入で「心のノート」の「大切なそれぞれの仕事」の絵と文を活用し、勤労への意識化を図る。
- 読み物資料として  
「心のノート」の登場人物の気持ちを想像することを通して、ページそのものを読み物資料として扱う。
- 振り返りの場面で  
今までみんなのためにがんばってきたかどうか、「心のノート」に書き込む活動を通して、今までの自分の生活を振り返る。



### 導入・展開で活用した事例（第2学年）

- 1 主題名 わたしのしごと〔内容項目4-(2)〕
- 2 中心的な資料 1・2年生用P.76～77「大切なそれぞれのしごと」  
1・2年生用P.78 読み物資料  
1・2年生用P.79「わたしのしごと」
- 3 ねらい 働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。
- 4 展開の概要

学習活動の流れと主な発問など	留意点・「心のノート」の生かし方
1 「心のノート」P.76～77「大切なそれぞれのしごと」の文や写真から、いろいろな仕事について話し合う。	◇「心のノート」P.76～77の活用 ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
2 「心のノート」P.78を読み、話し合う。  ○帰りにそうじをしているとき、「わたし」はどんなことを考えていたか。 ○教室の友達はどうな気持ちだったか。 ○先生にほめられた「わたし」は、どんな気持ちだったか。	◇「心のノート」P.78の活用 読み物資料として活用する。  ◇役割演技などの表現活動を取り入れ、多様な考えを引き出す。
3 今までの自分の生活を振り返る。	◇「心のノート」P.79の活用 「わたしのしごと」を書き、今までの生活を振り返る。
4 勤労の大切さについて、教師の説話を聞く。	◇後日「先生・家の人から」の欄にコメントを書いて返すことで、道徳的実践意欲を高める。

子どもが本気になって話し合いたくなるきっかけとして

### 5 「心のノート」活用の実際

#### ① 導入

1・2年生用P.76～77「大切なそれぞれのしごと」の文を読み、それぞれの写真がどんな場面かを話し合う。

- ・消防士が火を消している。
- ・美容師が髪の毛を切っている。
- ・農家の人が稲を刈っている。
- ・教室の掃除をしている。
- ・洗濯ものを干している。 など



1・2年生用P.76～77

#### ② 資料を読んで、話し合う。

1・2年生用P.78を読んで話し合う。

教師が範読し、主人公「わたし」を通して、働くことの大切さについて考えさせ、勤労について自分の感じ方、考え方に気付かせる。



1・2年生用P.78

#### ③ 今までの自分の生活を振り返る。

1・2年生用P.79「わたしのしごと」を書く活動を通して、勤労に関わる体験を想起して、自分の在り方を自覚させる。

- ・黒板をきれいにしている。
- ・給食の準備をいつも手伝っている。
- ・進んでごみを拾っている。
- ・プリントやノートを配っている。
- ・電気をつけたり消したりしている。 など



1・2年生用P.79

# 1時間を通して活用する②

## 本場面におけるポイント

- 詩に込められたメッセージを、自分との関わりで考える学習に生かす  
詩に込められたメッセージを自分なりに受け止め、考えることを授業の中心にする。授業で様々な考えを共有していくことで、自己の考えを深め、広げていく。
- 書く活動を通して、自分の考えを深く見つめていく  
「心のノート」の構成を生かして、詩を読みながら自分の考えを書いてまとめていく。その中で、自分の考えを整理し、見つめていくようにする。
- 「心のノート」を掲示とワークシートとして活用する  
活用するページを拡大印刷して、資料提示に生かす。また、印刷した心のノートは裏面も含めて、ワークシートとして活用する。

## ● 「心のノート」の詩を生かした授業展開 (第6学年)

- 1 主 題 名 やわらかい心を目指して〔内容項目2-(4)〕
- 2 中心的な資料 「よりそうこと、わかり合うことから」(「心のノート」小学校5・6年)
- 3 ね ら い 素直な気持ちで、相手の立場に立って考え、広い心をもとうとする心情を育てる。
- 4 「心のノート」を生かす工夫  
「心のノート」を資料やワークシートとして生かす。
- 5 展開の概要

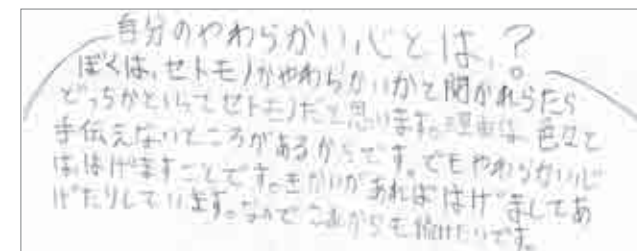
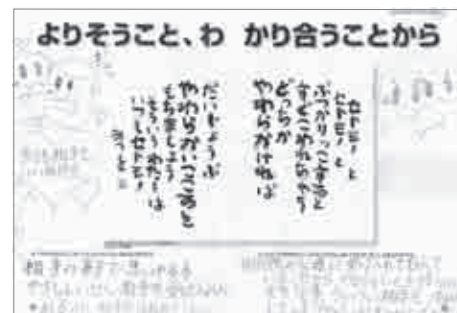
学習活動の流れと主な発問など	◇留意点 ◆評価
1 ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。 ○失敗や過ちを許してもらったことはどんなことか。 ・野球でエラーしたときの、「ドンマイ」がうれしかった。 あいだみつを氏についての説明を聞く。	◇児童の思考が友情など、他の道徳的価値へ流れてしまうこともあるので、ねらいとする道徳的価値に目を向けられるように話し合いを進める。 ◇行為だけでなく、心情も問う。
2 資料を読んで、謙虚と寛容について考え、話し合う。 詩を全員で音読して、どんなメッセージが込められているのか考える。 ○「やわらかい心」とは、どんな心だと思おうか。 <b>発問①</b> ・人に合わせて自分を変えられる心。 ・何でも受け入れる心。 ・人とぶつかっても平気な心。	◇実際に瀬戸物の食器を見せて、感覚をとらえさせる。 ◇詩を音読してから、個人で考える時間を確保する。
○あいださんはどんな思いで「そういうわたしはいつもセトモノ」と言っているのか。(中心発問) <b>発問②</b> ・やわらかい心をもちたいけど、なかなかできない。 ・やわらかい心にあこがれるなあ。自分もなりたい。	◇「やわらかい心」のイメージをふくらませて書くことで、寛容な、広い心を考えて、価値理解を深める。 ◇あるべき「やわらかい心」の大切さと、わかっていてもできない思い、両面を見つめることで価値理解及び人間理解を深める。

## 「心のノート」にある詩を生かして自分自身を振り返る

学習活動の流れと主な発問など	◇留意点 ◆評価
・セトモノの心は誰にでもあるんだよ。 ・みんなもそうだから、安心させてあげたい。  3 学習したことについて、自分を振り返る。 ○自分の中のやわらかい心やセトモノを感じるの、どんなときか。 ・友達と考えが違うときも、受け入れるようにした。 ・家族に注意されたとき、素直に謝れなかった。  4 学習のまとめをする。 教師の説話を聞く。	◆「心のノート」への記述から、自分なりの考えをもっているか。  ◇ねらいとする道徳的価値に関わって、自分はどうかあるのかを振り返る。  ◇考えたことを話し合うことで、仲間の考えを受け止め、他者理解を深める。  ◆自分の考え、あり方を正しく見つめられているか。

## 6 「心のノート」活用の実際

「心のノート」を掲示物と、ワークシートとして活用する。



「心のノート」は、ワークシートとして活用する。裏面は、例えば自分との関わりで考えたことを書くなど、自由に生かす。



書く活動の場面

発問①

- ・優しく、思いやりのある心。
- ・相手の気持ちを受け入れる心。
- ・こわれず、何でも受け入れる心。

子どもが受け止めたメッセージを、話し合いで共有する。

発問②

- ・とても難しいこと。そうなるように、一歩ずつ進んでいこう。
- ・そんなに完璧じゃなくてもいいんだよ…。



板書